

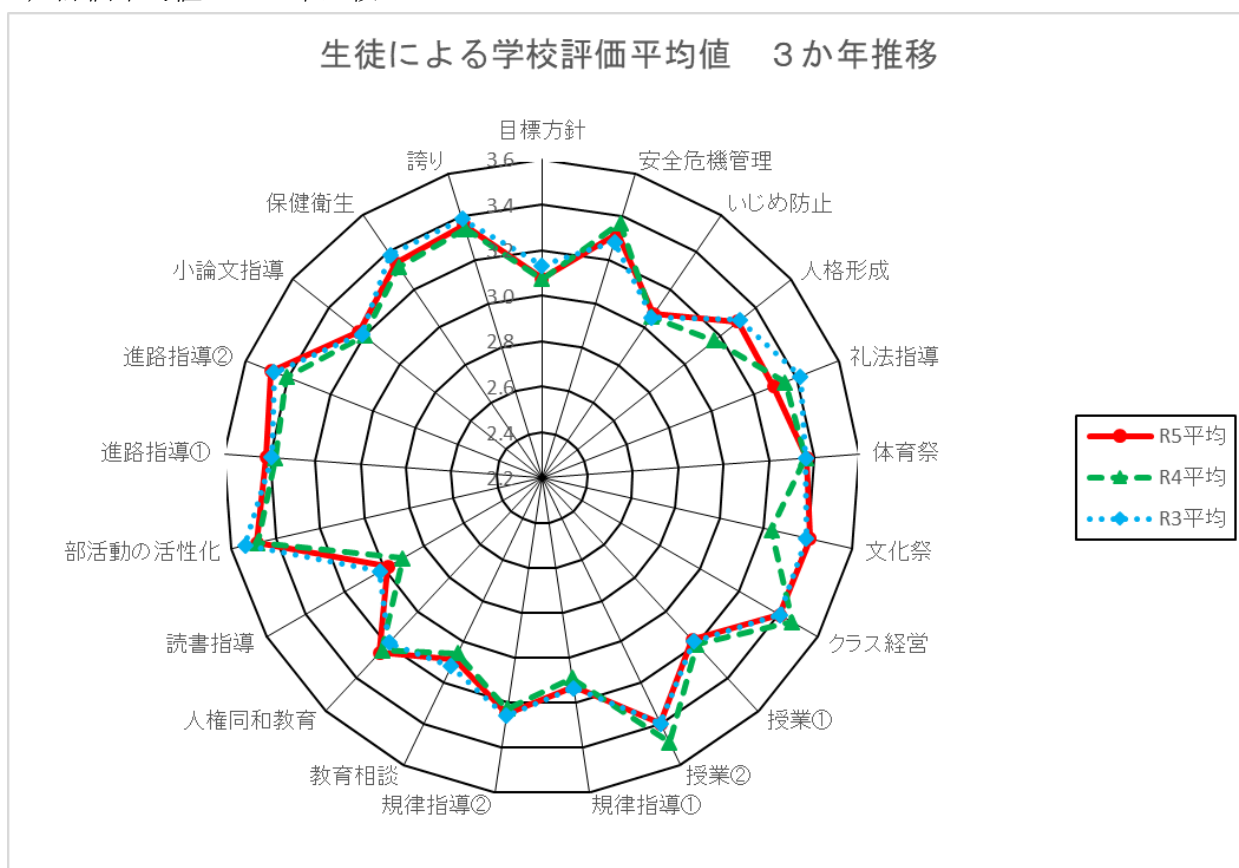
## 1 生徒による学校評価

(1) 各項目における各評価の占める割合

4 そう思う 3 ややそう思う 2 ややそう思わない 1 ほとんどそう思わない

項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R5平均	R4平均	R3平均
1	目標方針① 本校は「生徒にワンランク上を目指させる」という教育方針を日々の教育に生かしている。	23.5%	62.7%	11.4%	2.3%	3.1	3.1	3.1
2	安全危機管理 本校は交通安全指導など生徒の命を守るための安全管理に取り組んでいる。	40.3%	52.0%	7.2%	0.5%	3.3	3.4	3.3
3	いじめ防止 本校はいじめの未然防止や早期発見のために組織的に取り組んでいる。	28.2%	53.6%	15.2%	3.0%	3.1	3.1	3.1
4	人格形成 本校は女子高としての特性を活かし、品格ある人物像を目指した教育を行っている。	40.8%	50.3%	7.0%	1.9%	3.3	3.2	3.3
5	礼法指導 本校の生徒は基本的な生活習慣（あいさつ・時間厳守等）を確立できている。	38.0%	54.5%	6.5%	0.9%	3.3	3.3	3.4
6	体育祭 体育祭は満足できるものである。	47.1%	43.8%	7.9%	1.2%	3.4	3.4	3.4
7	文化祭 文化祭は満足できるものである。	50.6%	40.3%	8.4%	0.7%	3.4	3.2	3.4
8	クラス経営 行事や学級活動等を通して、クラスの中に望ましい人間関係ができています。	48.0%	45.5%	5.6%	0.9%	3.4	3.5	3.4
9	授業① 分かりやすい授業が行われている。	25.9%	66.4%	6.8%	0.9%	3.2	3.2	3.2
10	授業② 先生は質問に丁寧に答えてくれる。	46.2%	48.3%	4.9%	0.7%	3.4	3.5	3.4
11	規律指導① 本校の生徒は校則を守っている。	25.2%	63.4%	10.7%	0.7%	3.1	3.1	3.1
12	規律指導② 本校の生徒は校外で社会のルール（法）やマナーを守っている。	35.4%	55.7%	7.2%	1.6%	3.2	3.2	3.3
13	教育相談 本校の生徒は先生方に対して、必要ときに不安や悩みを相談できている。	28.2%	55.0%	14.0%	2.8%	3.1	3.1	3.1
14	人権同和教育 本校の人権学習は、効果的に行われている。	35.0%	56.4%	7.2%	1.4%	3.2	3.2	3.2
15	読書指導 本校は朝読書や図書館利用を推進して、読書習慣を育てている。	28.9%	44.5%	22.4%	4.2%	3.0	2.9	3.0
16	部活動の活性化 本校の部活動は活発であり、競技力や技能の向上、人間的な成長につながっている。	52.9%	43.1%	3.5%	0.5%	3.5	3.5	3.5
17	進路指導① 本校の進路指導は、生徒の進路実現に向けて適切なサポートができています。	47.6%	47.1%	4.7%	0.7%	3.4	3.4	3.4
18	進路指導② 本校は適切に進路情報を提供している。	54.3%	40.3%	4.4%	0.9%	3.5	3.4	3.5
19	小論文指導 本校の小論文指導は効果的に行われている。	34.7%	54.5%	9.8%	0.9%	3.2	3.2	3.2
20	保健衛生 本校は病気の予防や環境美化に積極的に取り組んでいる。	41.5%	51.7%	6.1%	0.7%	3.3	3.3	3.4
21	誇り 鹿屋女子高等学校の生徒であることに誇りを持っている。	46.9%	44.1%	7.7%	1.4%	3.4	3.3	3.4

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

生徒が最も評価している項目は、部活動の活性化と進路指導② [進路情報] (3.5)で、いずれも適切な指導を受けられていると感じている生徒が多いようである。また、行事の項目は共に評価(3.4)と高く、コロナ対応が緩和されたことも大きな要因と考えられる。特に文化祭は、全校生徒が体育館で鑑賞できる従来の形に戻り、昨年度と比べても0.2pt上昇した。

一方で、いじめ防止(3.1)、規律指導①(3.1)、教育相談(3.1)、読書指導(3.0)といった生徒指導に関する項目が、他の項目と比べるとやや低い結果となっている。

「よりよい学校づくりのための意見」において、昨年は約9割が校則や生活指導に関することであったが、今年度はその数が減り、あいさつや清掃の改善を訴える建設的な意見が見られた。常に当事者意識を持って行動ができる生徒の育成に向け、教員と生徒が共に課題解決を図りつつ、生徒が正しい判断と行動ができるように支援していく必要がある。

(4) 今後の課題

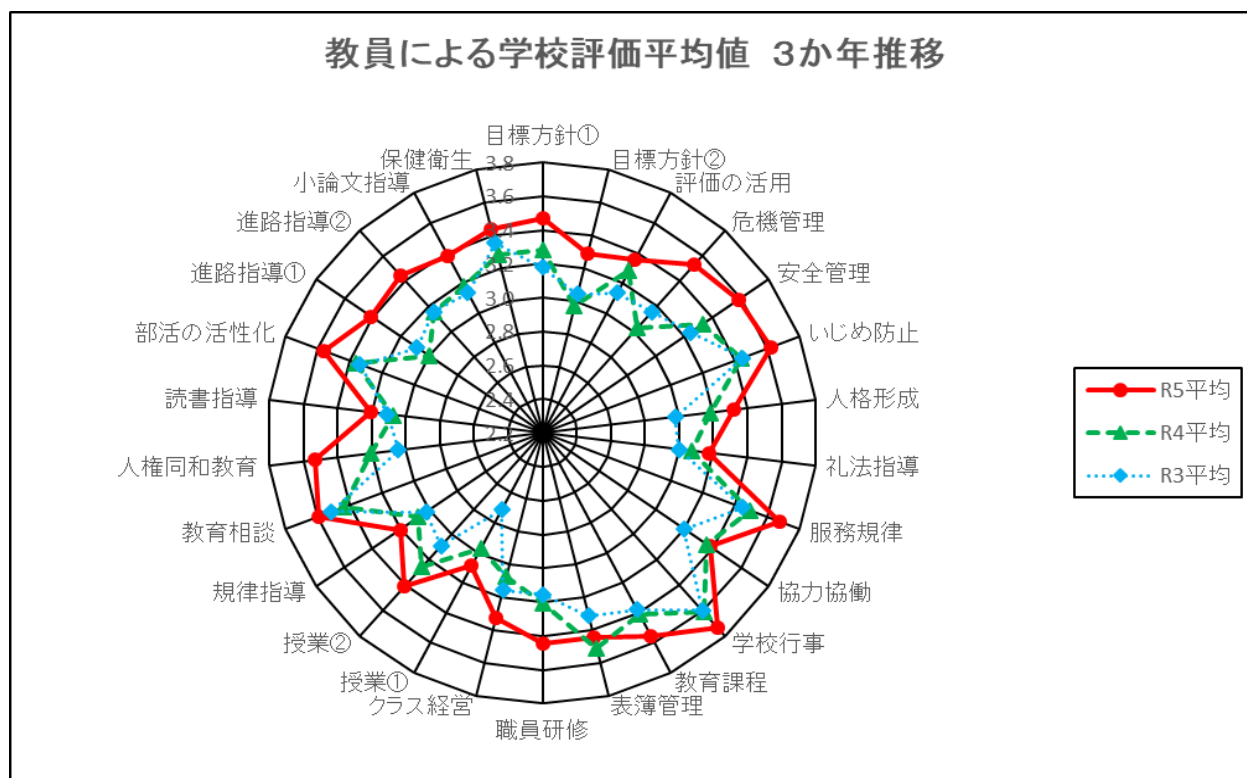
- 生徒指導における共通理解の徹底 (教員⇄生徒)
- 生徒会活動の充実

## 2 職員による学校評価

### (1) 各項目における各評価の占める割合

項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R5平均	R4平均	R3平均
1	目標方針① 本校では「学校教育目標」及び「教育方針」、校長の「経営方針」を意識した日常の教育実践が行われている。	50.0%	47.1%	2.9%	0.0%	3.5	3.3	3.2
2	目標方針② 本校は生徒・保護者や地域に対して、本校の「学校教育目標」及び「教育方針」等を説明し、理解されている。	29.4%	70.6%	0.0%	0.0%	3.3	3.0	3.0
3	評価の活用 本校は自己申告・年間反省等を活用して自らの課題と目標を明確にし、課題解決や目標達成、業務改善に向けて取り組んでいる。	44.1%	47.1%	8.8%	0.0%	3.4	3.3	3.1
4	危機管理 本校は不審者侵入等の防犯対策や防火防災対策など生徒の命を守るための危機管理を実践している。	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	3.5	3.0	3.2
5	安全管理 本校は交通安全指導や施設設備の安全点検など生徒の命を守るための安全管理を実践している。	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	3.6	3.3	3.2
6	いじめ防止 本校は「鹿屋女子高等学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめの未然防止や早期発見のために組織的に取り組んでいる。	61.8%	38.2%	0.0%	0.0%	3.6	3.4	3.4
7	人格形成 本校は女子高としての特性を活かし、品格ある人物像を目指した教育を行っている。	35.3%	61.8%	2.9%	0.0%	3.3	3.2	3.0
8	礼法指導 生徒は基本的な生活習慣(あいさつ・時間厳守等)を確立できている。	23.5%	70.6%	5.9%	0.0%	3.2	3.1	3.0
9	服務規律 本校教職員は服務規律の厳正確保に努め、教育公務員として自らの行動規範を確立している。	67.6%	32.4%	0.0%	0.0%	3.7	3.5	3.4
10	協力協働 本校は職員相互または管理職と職員の間で悩みを相談できるような職場の雰囲気づくりに努めている。	55.9%	26.5%	17.6%	0.0%	3.4	3.4	3.2
11	学校行事 生徒は体育祭、文化祭等の学校行事において、目的を意識しながら精一杯取り組み、感動や成就感を味わっている。	73.5%	26.5%	0.0%	0.0%	3.7	3.6	3.6
12	教育課程 本校は学科の特性を活かし、生徒の多様な進路に対応した効果的な教育課程を編成し、実施している。	58.8%	38.2%	2.9%	0.0%	3.6	3.4	3.4
13	表簿管理 本校は諸表簿を正確に記入し、適切に保管するとともに、個人情報の厳正管理に努めている。	44.1%	55.9%	0.0%	0.0%	3.4	3.5	3.3
14	職員研修 本校は校内研修の効果的な実施や校外研修への積極的な参加によって、職員全体の共通理解と共通実践、指導力向上を推進している。	47.1%	50.0%	2.9%	0.0%	3.4	3.2	3.2
15	クラス経営 本校は学級経営目標や総合的な学習の時間・LHRの年間計画等を明確にし、望ましい学級づくりと諸指導を計画的・効果的に実践している。	35.3%	61.8%	2.9%	0.0%	3.3	3.1	3.2
16	授業① 本校はシラバスを活用し、学習計画や評価方法等について生徒に十分理解させている。	20.6%	67.6%	11.8%	0.0%	3.1	3.0	2.7
17	授業② 本校は考査問題等を工夫して適切な評価と実態把握を行い、生徒の実態に応じて指導法の工夫をしている。	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	3.4	3.3	3.1
18	規律指導 生徒は校則を守るとともに、社会のルール(法)やマナーを遵守できている。	26.5%	67.6%	5.9%	0.0%	3.2	3.1	3.0
19	教育相談 本校は生徒理解のための各種テストや学校生活アンケート等の結果を活用した適切な教育相談を推進し、生徒や保護者の不安や悩みに対応する相談活動(カウンセリング)を実施している。	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	3.6	3.4	3.5
20	人権同和教育 本校は人権同和教育の意義を理解し、差別をなくす姿勢で授業やLHR等に臨むなど、人権同和教育の推進に努めている。	55.9%	41.2%	2.9%	0.0%	3.5	3.2	3.0
21	読書指導 本校は朝読書や図書館利用を推進して、読書習慣を育てている。	32.4%	55.9%	11.8%	0.0%	3.2	3.1	3.1
22	部活動の活性化 本校は生徒の競技力や技能の向上、個性の伸長、人格的な陶冶等を図りながら、部活動の活性化に努めている。	55.9%	44.1%	0.0%	0.0%	3.6	3.4	3.3
23	進路指導① 本校は3年間を見通した適時適切な進路指導を実施し、進路目標を早期に確立させ、ワンランク上の進路実現に努めている。	44.1%	52.9%	2.9%	0.0%	3.4	3.0	3.1
24	進路指導② 本校はあらゆる教育活動を通して、望ましい職業観を育むとともに、適切に進路情報を提供して進路意識を啓発している。	44.1%	55.9%	0.0%	0.0%	3.4	3.2	3.2
25	小論文指導 本校は全校的な取組として、3年間を見通した小論文指導を計画的・効果的に進めている。	47.1%	44.1%	8.8%	0.0%	3.4	3.2	3.1
26	保健衛生 本校は疾病の予防や環境衛生の保持、清掃等の環境美化に積極的に努めている。	47.1%	50.0%	2.9%	0.0%	3.4	3.3	3.4

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

ほぼすべての評価項目において昨年度以上の評価となった。サービス規律の項目が(3.7)と高く、昨年度より 0.2pt 上昇している。職員研修の取組や職員間の良好な関係が好影響につながっていると考えられる。また、人権同和教育の項目が(3.5)と2年前より 0.5pt 上昇したことも、人権同和教育係における職員研修・LHRの実施によるところが大きい。

一方で、礼法指導と授業① [シラバスの活用] における「評価4」の割合が約2割となっているので、職員間の共通理解の徹底と指導と評価の一体化を目指す授業展開の研究を続けていく必要がある。

(4) 今後の課題

- ・ 生徒指導における共通理解の徹底 (職員間)
- ・ 評価と指導の一体化の研究・実現

【よりよい学校づくりのための意見】(原文のまま)

- 来年度のスタディサプリの導入に伴い、自宅学習時間調査と進路希望をスタディサプりに統合するなどの効率化を進めるのはどうでしょうか
- 部活動のガイドラインが守られておらず、それが見過ごされている。やればやるだけ”頑張っている”という旧態依然とした風潮が未だにある。生徒・教員相互のため、そして教員のなり手不足解決のため、短・長期的なスパンで考えても守る、守らせるべきである。

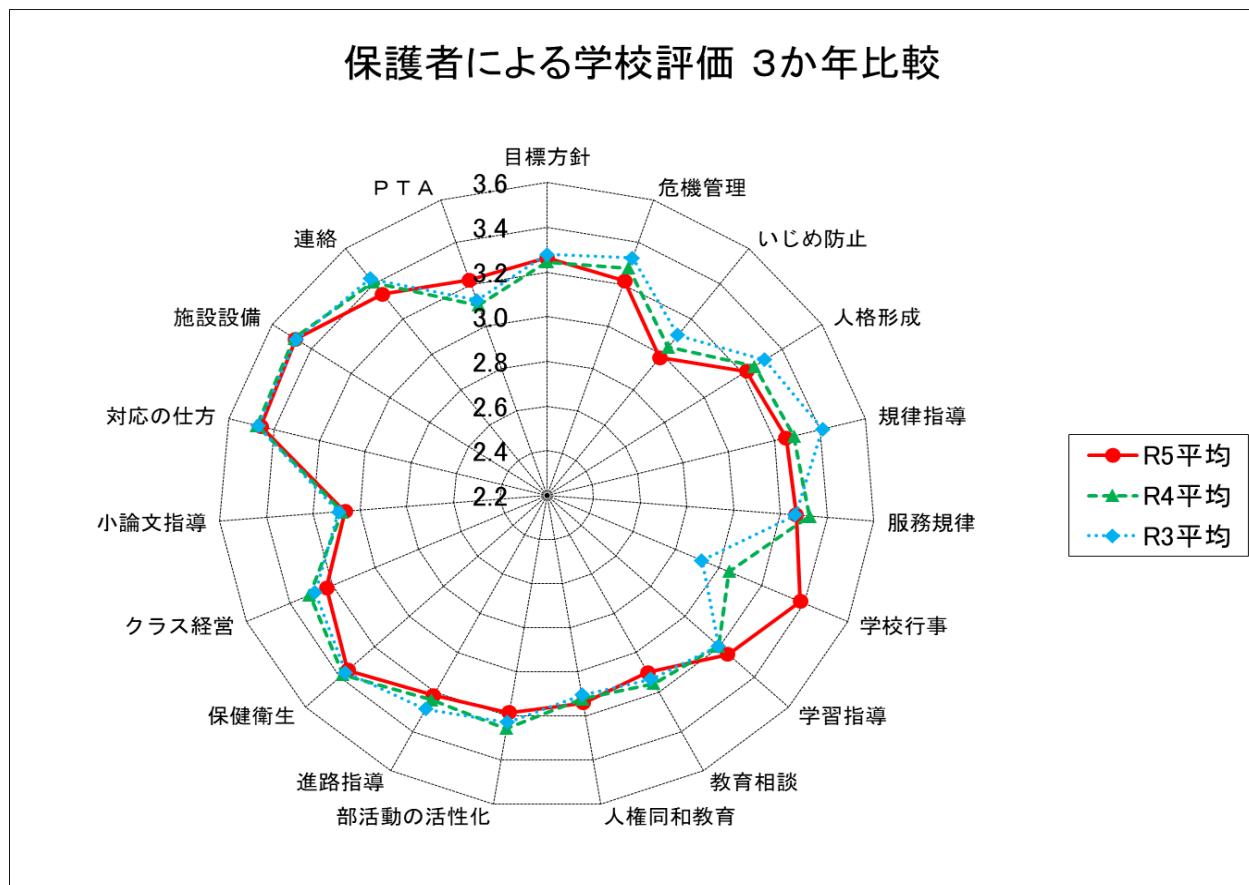
3 保護者による学校評価

(1) 各項目における各評価の占める割合

4 十分達成している 3 おおむね達成している 2 やや達成されていない 1 ほとんど達成されていない

項目名	評価項目	評価4	評価3	評価2	評価1	R5平均	R4平均	R3平均
1 目標方針	鹿屋女子高は「学校教育目標」及び「教育方針」等を日々の教育に生かしている。	30.3%	66.8%	1.8%	1.1%	3.3	3.2	3.3
2 危機管理	防犯対策や防火防災対策, 交通安全指導など生徒の命を守るための配慮がなされている。	27.8%	66.1%	6.1%	0.0%	3.2	3.3	3.3
3 いじめ防止	いじめの未然防止や早期発見のために組織的に取り組んでいる。	17.7%	63.5%	18.1%	0.7%	3.0	3.0	3.1
4 人格形成	女子高としての特性を活かし, 品格ある人物像を目指した教育を行っている。	32.9%	57.4%	8.3%	1.4%	3.2	3.3	3.3
5 規律指導	生徒は基本的な生活習慣が確立され, 校則や社会のルールを遵守するために, 適切な指導が行われている。	33.2%	59.6%	6.5%	0.7%	3.3	3.3	3.4
6 服務規律	鹿屋女子高の教員は, 教育公務員として望ましい職務態度である。	33.2%	61.0%	5.1%	0.7%	3.3	3.3	3.3
7 学校行事	体育祭や文化祭などの学校行事は満足できるものである。	45.8%	46.2%	7.9%	0.0%	3.4	3.0	2.9
8 学習指導	各教科の学習指導は効果的に行われている。	32.5%	60.6%	6.1%	0.7%	3.2	3.2	3.2
9 教育相談	生徒や保護者が不安や悩みを相談しやすい体制ができています。	30.0%	52.0%	16.2%	1.8%	3.1	3.2	3.1
10 人権同和教育	人権学習は効果的に行われている。	23.5%	67.5%	8.7%	0.4%	3.1	3.1	3.1
11 部活動の活性化	部活動は, 競技力や技能の向上, 人格形成に資するものとなっており, 充実した活動が行われている。	33.2%	54.9%	9.0%	2.9%	3.2	3.3	3.2
12 進路指導	3年間を見通した適切な進路指導がなされ, ワンランク上の進路実現に努めている。	32.1%	58.1%	9.0%	0.7%	3.2	3.2	3.3
13 保健衛生	疾病の予防や環境衛生の保持, 清掃等の環境美化に積極的に努めている。	38.3%	59.2%	2.2%	0.4%	3.4	3.4	3.4
14 クラス経営	望ましい学級づくりと諸指導を効果的に実践している。	32.1%	59.6%	7.2%	1.1%	3.2	3.3	3.3
15 小論文指導	全校的な取組として, 3年間を見通した小論文指導を計画的・効果的に行っている。	22.0%	63.2%	14.1%	0.7%	3.1	3.1	3.1
16 対応の仕方	電話や訪問の際の学校側の対応は適切である。	48.0%	49.8%	2.2%	0.0%	3.5	3.5	3.5
17 施設設備	学校の施設設備は満足できるものである。	53.4%	41.5%	4.7%	0.4%	3.5	3.5	3.5
18 連絡	学校からの保護者への連絡は適切に行われている。	42.2%	49.8%	7.9%	0.0%	3.3	3.4	3.4
19 P T A	本校のPTA活動は組織的かつ活発に行われている。	30.7%	61.0%	7.9%	0.4%	3.2	3.1	3.1

(2) 評価平均値の3か年比較



(3) 所見

例年と評価の傾向は大きく変わらず、「おおむね達成している(3.0)」以上の評価となっている。特に高い評価を得た項目は、対応の仕方(3.5)、施設設備(3.5)、学校行事(3.4)、保健衛生(3.4)であった。学校行事は、保護者入場の制限がなくなったことも大きな要因と考えられる。

一方で、平均値では「おおむね達成している(3.0)」以上の評価を得ているが、いじめ防止、教育相談の各項目で「評価2・評価1」の割合が約2割とやや高い。また、昨年度よりも下降した項目が6項目あることから、職員の意識向上を図る必要がある。

「より良い学校づくりのための意見」では、例年同様、駐車場に関する意見が多かった。「学校側の対応が保護者にあまり見えない」という意見もあったが、学校側の意図等を丁寧に周知する必要があるかもしれない。

(4) 今後の課題

- ・より良い学校づくりのための意見に対する回答・周知方法の検討
- ・教育相談、いじめ防止についての職員研修等の充実